

# 東桂小だより

平成30年4月23日(月)発行 NO. 1 発行責任者 白井明彦

## 学校教育具体目標

- ㊦進んで学ぶ子ども
  - ㊦思いやりのある子ども
  - ㊦健康でたくましい子ども
- \*知・徳・体の調和!  
\*居心地のよい学校!

## H30年度スタート!

平成30年度の教育活動がスタートしました。野木校長体制を引き継ぎ、子どもたちにとって「居心地のよい学校」になるよう、一丸となって頑張ります。皆様のご理解ご協力をお願いいたします。



### 【平成30年度教職員紹介】 ○は学年主任，ALT；金曜日

校長	白井 明彦	業務員	森嶋いく代	3年2組	安田 泰子
教頭	小口 尚良	市担教員	上嶋 佳子	4年1組	○若松やよい
教務主任	小笠原 淳	教員補助員	小林留美子	4年2組	保坂 健人
生徒指導主任	小幡 哲明	教員補助員	中野 夏未	5年1組	○梶原 由美
養護教諭	渡邊 真衣	教員補助員	入倉 ちか	5年2組	壬生 朋宏
事務職員	矢田みき江	1年1組	○原田 尚子	5年3組	青山 友香
初)拠点校指導教員	田辺 洋利	1年2組	内藤ひかり	6年1組	北浦 貴之
初任研後補充	金子みな恵	2年1組	萩原 弘朗	6年3組	○清水 佳子
栄養教諭(兼)	藤田桃子(谷一)	2年2組	○葛谷有希子	つくし学級1	出羽 佳子
図書館事務	長田恵理子	3年1組	○佐藤 典子	つくし学級2	佐野ちよ美

## ◇ 始 業 式 ◇ (校長の話の抜粋)

### 今年は「当たり前前3×3=9箇条」に取り組もう!

昨年度まで本校では「当たり前前5箇条」に取り組み、学期ごとに子ども同士の推薦+先生方からの推薦で「当たり前前大賞」を選んでみんなで賞賛してきました。今年はその流れを引き継ぎつつ知徳体の3分野に各3条ずつを盛り込み、「当たり前前サザンが9箇条」にリニューアルしました。当たり前(凡士徹底)運動は、東桂小中の連携により、9年間の一貫した取り組みになりつつあります。

今年、自分の当たり前を高めながら、班やクラス、学年、全校の当たり前にも目を向け、居心地の良い仲間づくりにも積極的に関わり「みんなの大きな夢を実現」させます。例えば6年生の夢なら、修学旅行・運動会・卒業式等々を成功させること。その為に、例えば(一)進んで学ぶ力では、①イチロー選手が道具や生活習慣、トレーニング方法を毎日「手入れ」するように、小さな確かな一步の積み上げを頑張ろう。(宿題、漢字練習、音読等) また、して頂くことばかりでなく、②誰かに「てこ入れ」ができる子になろう。(助け合うって楽しいよ、励ましだけでなく、注意し合える仲間にもなる)そして、③どうせしない人がいる、守らない人がいる、と疑いながら一緒にいるクラスではなく、必ずみんなが実行する、あきらめる人なんていない、と信じ合うことで繋がっていくクラスを作ろう!「みんなで良い準備」とは、「どれだけ信じ合って実現させる集団になったか」ということ。



## ～学校経営へのご理解とご協力を～

**学校教育目標：ふるさとを愛し 世界に目を向け 仲良く学び合う 心豊かな児童の育成**

学校教育目標を達成させ、学校の主人公である子どもたちにとって「居心地のよい学校」にするために次のことを基本にして全教職員一丸となり学校づくりを進めていきます。

1. 知・徳・体の調和を重視した教育活動の推進に努める。
  - ① 確かな学力の育成に努める。(基礎・基本の定着と考えを深める児童の育成)
  - ② 豊かな心の育成に努める。(特に思いやりの心と生命を尊重する心の育成)
  - ③ 健やかでたくましい体の育成に努める。(健康・体力づくり)
2. 学級経営を学校経営の基本に位置づけ、どの子どもにとっても居心地のよい学級づくりに努める。
3. 家庭や地域との連携を図り、教育活動に真摯に立ち向かい、信頼される学校づくりに努める。
4. 組織的な生徒指導と予防的な生徒指導に努める。
5. インクルーシブ（共生社会）の理念を生かした特別支援教育の推進に努める。
6. 互いの使命感や専門性を啓発し合い、教職員の資質向上に努める。
7. 気づき、考え、実行する行動力を授業や学級活動・委員会活動等で養う。



4/17「子どもと高齢者こころの交流推進事業発会式」で、スクールガードの皆さんに御挨拶!